



山田 直行先生

これから暖かくなれば、佐賀県立美術館近くや神野公園などにスケッチに出掛けることもあるそうです。山田先生は「絵の好きな方、興味のある方、ぜひ教室をのぞきに来てください」と呼び掛けます。

information

山田直行のスケッチ水彩

(A) 第1、3(土) 10:00~12:00  
(B) 第1、3(火) 13:30~15:30

佐賀新聞を長年「愛読いただいている方は、よく覚えていらっしゃるでしょう。佐賀県内の名所旧跡の魅力を伝える連載企画「ふるさとスケッチ」(2001年~20年)が高い人気を博しました。紙面で紹介した水彩画は330枚で、その絵と文章を担当いただいたのが、佐賀女子短大の学長を務められた山田直行先生です。佐賀新聞文化センターの人気講座「山田直行のスケッチ水彩」では、先生のアドバイスを受けながら絵を描く楽しさを実感することができます。

山田先生は佐賀大特設美術科(特美)の在学中から活躍され、佐賀女子短大で40年以上、美術や造形教育を指導。自身の創作活動にも情熱を注ぎ、佐賀美術協会展や県展などで多数受賞されるなど、地域の芸術振興に寄与してこられました。昨秋の叙勲で瑞宝小綬章を受章されています。

講座は1回2時間です。季節の花や果物などを教室中央のテーブルに置き、受講生のみなさんそれぞれが下描き、彩色を進めていきます。「絵の道は一つではありません。十人いれば十人の道があります。鉛筆の使い方、バランスのとおり方など基礎は伝えますが、自分の世界を大切にしてもらっています」と山田先生。お訪ねした日は、見ごろを迎えたスイセンとたわわに実ったキンカンが題材で、みなさん思い思いに絵筆を走らせていました。真剣な中にも和やかで楽しい雰囲気で、「先生は本当に自由に描かせてくださいます。だから長く続けてこられました。」

こう話すのは、指導を受けて20年以上になる篠原葉子さんです。絵に没頭することが心の支えになり、日々の暮らしに潤いを与えてくれます。

特集

# 踏み出そう 学びの一步



## 佐賀新聞文化センター講座紹介

### み

なさんは、佐賀市白山の複合施設「エスプラッツ」が佐賀新聞文化センターの文化講座や生涯学習の拠点になっていることをご存知でしょうか。施設の2、3階にたくさんある教室があり、佐賀新聞文化センターが運営する約350講座が開かれています。「人生100年時代」といわれるいま、学び始めるのに遅いということはありません。この春、自分磨きの新たなチャレンジとして学びの一步を踏み出してみませんか。

私たちは2020年から3年あまり、新型コロナウイルスの感染拡大によって厳しい制限を

余儀なくされました。みんなで集まるのが難しく、会いたい人に会えないのは本当につらいことでしたが、その新型コロナが沈静化し、ようやくかつてのにぎわいを取り戻しつつあります。

佐賀新聞文化センターはエスプラッツに移って19年目です。午前10時から午後9時まで、美術、音楽、健康・スポーツなど、さまざまな分野の講座が開かれています(24~35ページの講座案内参照)。講師の先生は実力者ぞろいです。今回の特集では、その中から人気講座のいくつかをご紹介します。

講座見学などのお問い合わせは…

株式会社 Sagashibun Bunka Center  
佐賀新聞文化センター

カルチャー教室 TEL: 0952-25-2160



講座一覧はHPから!

佐賀新聞文化センター





### 北原 澄代 先生

られます。さらに練習を重ねることに気がたまり、元気になります。「講座に来ると体の調子が整います。背中が少し痛かったりしても、帰るときはいい感じになっていきます」。通い始めて6年になる女性は魅力をこう語ります。

「よく言われることですが、太極拳をしている人は同世代の人より若く見られます。足腰がしっかりしてくるので軽やかに歩けるし、姿勢もよくなります。無理せず楽しみながら続けられます。一度見学に来てください」と北原先生。太極拳がさらに幅広い世代に広がってほしいと願っています。

#### information

##### さわやか太極拳

(水) 13:00 ~ 15:00

毎週上級コース (水) 15:00 ~ 16:00

隔週上級コース 第1,3(水) 15:00 ~ 16:00

北原澄代先生が佐賀新聞文化センターで担当されている「さわやか太極拳」は、中国に伝わる古武術「太極拳」を基礎から学べる人気講座です。太極拳は激しい運動ではなく、ゆっくりとした動きで、その人の筋力に応じて正しい姿勢や体の使い方を身に付けることから始めます。本格的に運動をしたことがない人でも無理なく続けることができ、確かな健康効果を実感できます。

北原先生が太極拳と出会ったのは30代のときです。太極拳を学んでいる義母の姿を見て、何気ない気持ちで一緒に教室に通い始めましたが、すぐにその奥深さに魅了されたそうです。熱心に練習に取り組むうちに、中国の健康体操「十八練功」入門・初級太極拳、それから本格的な二十四式太極拳へと進んでいきます。北原先生は、受講されている生徒さんそれぞれに寄り添い、体重移動や腰の動かし方のコツなど、分かりやすくアドバイスされています。

高齢になるにつれ、脚を上げる筋肉が衰えて転びやすくなったりしますが、太極拳により脚などの基礎的な筋肉が鍛え



### 吉澤 須満 先生

「シャンソンは、世界中で親しまれている伝統的な音楽ですが、自分の人生や生き方を歌で表現するという独特な世界観があります。ゆえに同じ歌や曲でも、歌い手次第で大きく変わり、その人の個性を知ることができます」。こう話すのは、佐賀新聞文化センターの人気講座「ピアノでシャンソン」はじめてのシャンソン」を担当されている吉澤須満先生です。講座では、歌う喜びを体感し、新たな自分に出会うことができます。

吉澤先生はシャンソンの魅力に触れ、クラシックから転向。アマチュアシャンソンコンクール全国大会には、九州代表として何度も出場し、2010(平成22)年の大会では歌唱賞を受賞されています。福岡、佐賀を拠点に活躍されており、佐賀新聞文化センターで講座を受け持つようになってからは18年目になります。

「お訪ねした日の講座は、シャンソンの名曲として知られる『すみれの花咲く頃』の歌詞を確認し、ピアニストによる演奏に合わせてみんなで歌うところから始めました。教室いっぱい美しい歌声が響き渡ります。

「音楽は自由であり、その人の感覚、そして体で感じるものです。そこで私は発声や歌い方のコツなど基本的な部分は指導しますが、歌い手の方の個性を見つけ、伸ばすことを一番に考えています」と吉澤先生。こうした思いは生徒さんにもしっかり伝わっています。「先生はよく褒めてくださいます。いろいろなシャンソンを歌うことができ、講座の日は朝からルンルンです」。通い始めて10年以上という女性はこう語ります。歌うことで心に安らぎが生まれるそうです。

講座は日曜と月曜です。「ぜひ一度、見学に来ていただけたらと思います。シャンソンについて敷居が高いと感じられる方もいらっしやるかもしれません。普段着で受講できます。グループで行いますので、お気軽にお越しください」と呼び掛けます。

#### information

##### はじめてのシャンソン

第2,4(日) 10:30 ~ 12:00

##### ピアノでシャンソン

第1,3(月) 18:30 ~ 20:00

